



文化博物館だより

第565号

2021年1月13日

今回の博物館だよりは、開催中の冬季特別展「生誕130周年記念 堂本印象展」の関連イベントについて、秋祭り写真コンテストの展示について、次回開催の企画展「くらしのうつりかわり展」のご案内をお届けします。

ミュージアムトークを開催しました！冬季特別展「生誕130周年記念 堂本印象展」(1月9日)



ミュージアムトークの様子



《維摩》1923年 京都府立堂本印象美術館蔵



日本画の画材の説明も行いました

「生誕130周年記念 堂本印象展」のミュージアムトークを開催しました。

日本画とは、というところから始まり、画材の説明を行ったのち、本展覧会で展示中の「維摩(ゆいま)」に焦点を当ててお話ししました。

大乗仏教の「経典」の1つである「維摩経」についての説明もあったのですが、作品の背景にある物語を聞くと、より深く作品と向き合うことができますね。参加されたお客様は熱心にお聞きになり、「大変面白かった、勉強になった」と喜んでいらっしゃいました。

明石の秋祭り写真コンテストプレイバック、あかしの秋祭りー展示中です(1月17日まで)



新型コロナウイルス感染症拡大防止のために、昨年は明石の秋祭りのほとんどが中止になりました。そこで今回は、平成期(1989年～2018年)に開催された祭りをテーマとして、往時の熱気に思いを馳せるコンテストとしました。おかげさまでたくさんのご応募をいただき、16名45点の作品を展示しています。ご応募いただいた皆様ありがとうございました。

当時の思い出も書いていただいたので、作品に添えて展示しています。写真とあわせてお楽しみください。

個性あふれる楽しい写真が揃いました♪

2月7日より開催！「企画展 くらしのうつりかわり展 米づくりの春夏秋冬」(2月7日～3月21日)



私たちは、春夏秋冬と季節に合わせた生活を、毎年くり返しながら過ごしています。米づくりも、春夏秋冬、イネの成長に合わせて行われます。イネの成長に合わせた季節ごとの作業と、作業の間に行われる祈りの行事。たくさんの良質な米を収穫するための努力や改良の一端を、明治時代から昭和30年代の道具を通して紹介します。

あわせて昭和時代の生活道具を展示します。まだ水道・電気・ガスがなかった時代から、高度経済成長期を経て変わっていく生活道具たち。米づくりの変化と合わせて、生活がどのように変化していったのか、昭和時代を中心とした急激な時代の変化を感じていただければ幸いです。イベント等の詳細はホームページをご確認ください。

大人：200円 大高生：150円 中学生以下：無料

冬季特別展「生誕130周年記念 堂本印象展」

会期：2020年12月19日(土)～2021年1月31日(日)

開館時間：9時30分～18時30分(入館は18時まで)

観覧料：大人1,000円、大高生700円、中学生以下無料

2歳の方からマスクの着用、検温、入館者記録票のご記入をお願いします。

詳しい展覧会情報は当館HPをご覧ください。

<http://www.akashibunpaku.com/>



おもしろい たのしい
来て、見て、発見！

ぶんぱくGO!!